学校番号	1207

令和　５　年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸　術	美術Ⅱ	２	３	美術Ⅰを履修していること

使用教科書	副読本等
高校生の美術Ⅱ	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教材費5000円				○			○	

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学んだ表現方法を生かして、絵画・彫刻・デザイン・映像などの作品制作に取り組む。

・分野を自分で選択して、自らテーマを決め、個性豊かな表現をめざす。

２．学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：美術への関心・意欲・態度	ｂ：発想や構想の能力	ｃ：創造的な技能	ｄ：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	活動の様子 ワークシート 制作の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	デザイン作品の制作	オートマチック技法による表現	○		○	○	a：学習内容に関心を持ち、学習の意欲を高めている。 ｃ：様々な技法を試し、その効果について学んでいる。 d：互いの作品のよさや美しさを感じ取り、理解を深めている。	活動の様子 ワークシート
5月 ～ 6月	【絵画】 水彩画 油彩画	モチーフを構成して静物を描く	○	○	○	○	a：水彩画・油彩画の表現に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b：テーマを決定し、スケッチや試作を行っている。 ｃ：透明水彩・油絵具の特性を生かし、表現方法を工夫している。 d：よさや美しさを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
7月 ～ 9月	【彫刻】 抽象立体	抽象立体の制作	○	○	○	○	a：抽象表現について理解しようとしている。 b：形を引き出し、自由な発想で構想を練っている。 c：素材を生かし、表現方法を工夫している。 d：よさや表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品
10月 ～ 2月	【絵画】 【彫刻】 【デザイン】 【映像】 選択制作	デッサン 油彩 着彩 彫刻 デザイン 映像 より選択して制作する	○	○	○	○	a：分野を選択し、主体的に取り組もうとしている。 b：自らテーマを決め、自由な発想で構想を練っている。 c：画材や素材を生かし、表現方法を工夫している。 d：表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品
	【鑑賞】	日本と世界の美術について	○		○	○	a：日本や世界の歴史ある表現に関心を持ち、美術文化を理解しようとしている。 c：美術作品から、美意識や創造性を感じ取り、それぞれの美術文化についての見方や感じ方を深めている。 d：作者の心情や意図を感じ取ったうえで、自身の判断や思いをまとめたり、発表したりしている。	ワークシート 発言や活動の様子 振り返りシート